

きらりと輝く人

民謡の奥深さと歌う楽しみと

伊藤善九郎さん（朝日・上本郷）

農業や保育園のバス運転手を勤めながら、地元の民謡グループ「かたくり民謡会」に所属し、全国大会や発表会などに参加しています。今年6月に行われた「第17回秋田草刈唄全国大会 in にかほ」では初優勝を飾りました。

民謡とともに三十年

三十歳を過ぎた頃に、近所の知り合いから誘われて民謡を歌い始めるようになり、かれこれ三十年余りが過ぎました。

最初は、商店の車庫を借りて練習していました。やがて同じ集落の人たちと一緒に空き家を借り、練習するようになりました。今は月三回程度、朝日中央公民館で練習しています。

歌えば歌うほど知る民謡の奥深さ

大会には平成元年頃から参加するようになりました。初めはあまり乗り気ではなかったのですが、民謡の指導を受けている先生の勧めと、先に友人が大会に参加していたこともあり「じゃあ



あ出てみよう」と足を運ぶようになりました。

会場に行くといろいろな歌い方を聴くことができます。練習すれば誰でも歌詞や節回しといった民謡の基本の部分は覚えられますが、昔の人々の暮らしの中から生まれてきた「民謡」として歌うためには、喜怒哀楽をつましく表現しないと、その唄その唄の特徴が出てきません。また、その土地独特の節回しに、他の地域の人ではまねできない微妙な発音があるなど、実際に聞いて聴いて、歌って練習しないとその土地に根ざした民謡は歌えません。

民謡は本当に奥が深く、歌えば歌うほど、だんだんと難しくなる感じがします。

民謡は楽しく、気楽に

大会では丁寧に、そして唄を聞いてくれる人にその情景が目につかぶように歌うことを心がけ「運がよければ入賞」と、気楽に楽しみながら参加しています。大会の優勝者には今はプロとして活躍されている方もいて、全国大会の重みを実感しました。

同じ民謡の会には若い人も入っていますが、仕事が忙しく全員がそろって練習する時は多くありません。しかし、自ら率先していろいろな唄に挑戦し、若い人たちに、自分が感じている民謡の楽しさが伝わるよう、心を込めて歌っていききたいと思っています。

広報つるおか 編集・発行／鶴岡市総務課広報広聴係

鶴岡市役所 本所

〒997-8601 山形県鶴岡市馬場町9-25

☎0235-25-2111 FAX0235-24-9071

ホームページアドレス <http://www.city.tsuruoka.lg.jp>

メールアドレス tsuruoka@city.tsuruoka.lg.jp

藤島庁舎

羽黒庁舎

櫛引庁舎

朝日庁舎

温海庁舎

鶴岡市藤島字笹花25 ☎0235-64-2111

鶴岡市羽黒町荒川字前田元89 ☎0235-62-2111

鶴岡市上山添字文栄100 ☎0235-57-2111

鶴岡市下名川字落合1 ☎0235-53-2111

鶴岡市温海戊577-1 ☎0235-43-2111